

気候関連開示（公開草案） 産業別開示要求 【風力技術及びプロジェクト開発業者 （RR-WT）産業編】

2022年6月

SSBJ設立準備委員会 事務局

※不許複製・禁無断転載：
公開草案の原文及び日本語仮訳は、IFRS財団の著作物となります。
複製及び使用の権利は厳しく制限されております。

- ❖ 本資料は、2022年3月31日にIFRS財団から公表されたIFRS S2号公開草案「気候関連開示」の付録B「産業別開示要求」のうち、**風力技術及びプロジェクト開発業者（RR-WT）産業に関連する部分の概要**についてご説明することを目的としています。
- ❖ 本資料では、当該付録B「産業別開示要求」に関し、以下の事項について記載しています。
 - ▶ 産業別開示要求の構成
 - ▶ 指標の**技術的プロトコル**（定義、範囲、適用及び調製に関するガイダンス）において、「shall（～しなければならない）」「shall not（～してはならない）」と記載されている事項を**太字**で記載しています。
 - ▶ 上記以外の事項でも、当該事項に即した開示を行うに際して**特に有用であると当事務局が判断した事項**を記載しています（そのため、すべての事項について記載しているわけではありません）。
 - ▶ 産業別指標を開示するまでの流れ

本資料は、IFRS財団のホームページにおいて公表された当該付録B「産業別開示要求」の日本語仮訳をもとに、SSBJ設立準備委員会事務局が作成したものです。

本資料における意見に係る部分は、あくまでも当委員会のスタッフ個人の見解であり、当委員会の公式見解ではございません。

S2基準案の付録B「産業別開示要求」は、産業ごとに以下が記載されている

産業の説明	<ul style="list-style-type: none">❖ 関連するビジネスモデル、基礎となる経済活動、一般的なサステナビリティ関連の影響 (impacts) 及び依存関係 (dependencies) 、並びに当該産業への参加に特徴的な他の共有される特徴を定義することにより、適用範囲を明確にすることを意図している
開示トピック及びトピックサマリー	<ul style="list-style-type: none">❖ 開示トピックとは、特定の産業内の企業によって行われる活動に基づいて、特定のサステナビリティ関連のリスク又は機会を定義するもの❖ 経営又は経営の失敗が企業の企業価値にどのように影響するかについての簡単な説明 (トピックサマリー) が含まれる
指標	<ul style="list-style-type: none">❖ 開示トピックに付随し、個別に又は1セットの一部として、特定の開示トピックのパフォーマンスに関する有用な情報を表示するように設計されている
技術的プロトコル	<ul style="list-style-type: none">❖ 定義、範囲、適用及び調製に関するガイダンスを提供する
活動指標	<ul style="list-style-type: none">❖ 企業による特定の活動又はオペレーションの規模を定量化するもの❖ データを正規化して比較を容易にするため、指標と組合せて使用することを意図している

**産業名
(68産業)**

衣服、装飾品及び履物

産業の説明

産業に関する記述

「衣服、装飾品及び履物」産業には、男性用、女性用及び子供用の衣類、ハンドバッグ、宝石、時計及び履物を含むさまざまな製品の設計、製造、卸売及び小売に関わる企業が含まれる。製品の大部分が新興市場のベンダーによって製造されることにより、この産業に属する企業が主として設計、卸売、販売促進、サプライ・チェーンの管理及び小売といった活動に焦点を当てることを可能にしている。

サステナビリティ開示トピック及び指標

表 1. サステナビリティ開示トピック及び指標

開示トピック

指標

トピック	指標	カテゴリー	測定単位	コード
原材料調達	優先原材料の調達に関連する環境及び社会リスクの記述	説明及び分析	該当なし	CG-AA-440a.1
	環境又は社会サステナビリティ基準（又はこの両方）の第三者認証を受けた原材料の割合（基準ごとに）	定量	重量ごとのパーセンテージ(%)	CG-AA-440a.2

「衣服、装飾品及び履物」産業は、綿、革、羊毛、ゴム、並びに貴重な鉱物及び金属など、最終製品の主要なインプットとして多数の原材料に依存している。

気候変動、土地利用、資源不足、及び当該産業のサプライ・チェーンが事業を展開する地域での紛争に関連するサステナビリティの影響(impacts)は、産業において原材料を調達する能力をこれまで以上に形成している。

潜在的な原材料不足、供給停止、価格変動及び風評リスクを管理する企業の能力は、透明性に欠けることが多いサプライ・チェーンを通じて地理的に多様な地域から原材料を調達するため、さらに困難になっている。

この問題の効果的な管理を行わないことは、**利益の減少、収益成長率の抑制又は資本コストの増加（又はこれらのすべて）につながる**可能性がある。さまざまな原材料を調達することに関連するリスクの種類に応じて、サプライヤーへの関与、透明性の向上、認証基準の使用又は革新的な代替原材料の使用（又はこれらのすべて）を含め、さまざまな解決策が必要になる可能性がある。

最も積極的な企業は、**ブランドの評判を向上させ、新しい市場機会を開拓する一方で、価格変動や潜在的な供給停止にさらされるリスクを減らす**可能性が高い。

コード： CG-AA-440a.1	指標： 優先原材料の調達に関連する環境及び社会リスクの記述	測定単位： 該当なし
1 1.1	<p>優先原材料の調達から生じる環境及び社会リスクを管理するための戦略的アプローチを説明する</p> <ul style="list-style-type: none"> • 優先原材料：企業の主要製品に不可欠なもの • 主要製品：過去3会計年度のいずれかにおいて連結売上高の10%以上を占めたもの 	
2	企業が優先原材料をどのように識別したかに関する方法を含める	
4	優先原材料は、当該原材料を直接購入したか、サプライヤーを通じて購入したかに関わらず開示する	
7	<p>綿花を優先原材料の一つとして識別した場合、以下を説明する</p> <ul style="list-style-type: none"> • 水ストレスのある綿花栽培地域に対する脆弱性 • これらの地域から綿花を調達することによる価格変動のリスクをどのように管理しているか 	

コード	活動指標	カテゴリー	測定単位
CG-AA-000.A	(1)Tier 1サプライヤーの数	定量	数
	(2)Tier 1の先のサプライヤーの数	定量	数

- Tier 1サプライヤー：報告企業と直接取引するサプライヤー
- Tier 1の先のサプライヤー：報告企業のTier 1サプライヤーにとって重要なサプライヤー

Tier 1の先のサプライヤーのデータが仮定、見積り、又は他の不確実性を含む方法に基づいているかを開示しなければならない

気候関連の産業別指標を開示するまでの流れ(1)

適切な産業の 選択

- ❖ S2基準案の付録B「産業別開示要求」B1巻からB68巻は、SASBスタンダードの「Sustainable Industry Classification System®」(SICS®)のうち、気候関連の指標がある**11セクター・68産業**で編成されている
- ❖ 企業は、単一又は複数の産業を識別しなければならない (S2基準案 B8項)
- ❖ 企業が複数の産業にまたがる可能性が高い、幅広い活動に参加している場合、複数の産業別要求事項を適用する必要がある可能性がある (S2基準案 B9項)

重大なリスク 及び機会の識別

- ❖ 企業は、企業がさらされている**重大な (significant) 気候関連のリスク及び機会**を識別し、記述しなければならない (S2基準案 第9項(a))
- ❖ その際に、企業は、産業別開示要求 (付録B) 中の「**開示トピック**」(特定の産業のリスク又は機会が定義されている)を参照しなければならない (S2基準案 第10項)

指標の特定

- ❖ 企業は、「戦略」に関する要求事項を満たすための開示を作成する際、産業横断的指標カテゴリー及び**開示トピックを伴う産業別指標の適用可能性**を参照し、考慮しなければならない (S2基準案 第11項)
- ❖ 一般目的財務報告の利用者が、重大な (significant) 気候関連のリスク及び機会を企業がどのように測定し、モニタリング及び管理するのかについて理解できるよう、企業は、**付録 B「産業別開示要求」において定められている産業別指標を開示**しなければならない (S2基準案 第19項、第20項(b))
- ❖ 企業は、企業がさらされている**気候関連のリスク及び機会を適正に表示する**という視点を持って、関連するフルセットの産業別要求事項を**すべて参照**しなければならない (S2基準案 B16項)

(次頁に続く)

気候関連の産業別指標を開示するまでの流れ(2)

(前頁からの続き)

指標の特定

- ❖ 定量的情報の開示に係る産業別要求事項が、産業横断的指標カテゴリー（S2基準案 第21項(a)から(e)）に関連する開示の要求事項を満たすか確認し検討しなければならない（S2基準案 付録B B15項）

産業横断的指標カテゴリー
（S2基準案 第21項）

- (a) 温室効果ガス排出
- (b) 移行リスク
- (c) 物理的リスク
- (d) 気候関連の機会
- (e) 資本投下
- (f) 内部炭素価格
- (g) 報酬

産業横断的指標カテゴリーの開示に
用いられる産業別指標の例

- (c)物理的リスク
農産物産業における、水ストレスのある地域から供給される主要作物の割合
- (d)気候関連の機会
化学製品産業における、使用段階の資源効率を考慮して設計された製品から生じた売上高

重要性
(Materiality)

- ❖ 企業は、特定された指標及び目標が企業の企業価値を評価する上で情報の利用者にとって重要性がある（material）と結論付けた場合、特定の要求事項に関連する情報を開示しなければならない（S2基準案 付録B B6項）
- ❖ IFRSサステナビリティ開示基準で要求される特定の開示に重要性がない（not material）場合には、提供する必要はない（S1基準案 第60項）

風力技術及びプロジェクト開発業者
Wind Technology & Project Developers
(RR-WT)

「風力技術及びプロジェクト開発業者」産業には、風力タービン、ブレード、タワー及び風力発電システムのその他のコンポーネントを製造する企業が含まれる。

風力エネルギープロジェクトの開発、建設及び管理をする企業もまた、この産業の範囲に含まれる。

製造業者はまた、販売後のメンテナンス及びサポートサービスを提供することもある。タービンは陸上又は海上に設置することができ、風力発電の能力に違いを生じさせたり、それぞれの種類の設置についてプロジェクト開発に困難を生じさせたりすることがある。

ほとんどの主要な風力技術企業はグローバルにオペレーションを行っている。

トピック	コード	指標
材料効率	RR-WT-440b.1	<ul style="list-style-type: none"> 上位5つの消費材料（重量）
	RR-WT-440b.2	<ul style="list-style-type: none"> 風力タービンのクラス別のタービン容量当たりの平均トップヘッド質量
	RR-WT-440b.3	<ul style="list-style-type: none"> 風力タービン設計の材料効率を最適化するアプローチの記述

「風力技術及びプロジェクト開発者」産業の長期的な成功は、他のエネルギー源と比較して低コストでエネルギーを生産できるかどうか依存する。

鉄鋼及びその他の材料の購入は、タービンの最大のコスト要素の一つであり、鉄鋼等のインプットは過去に大きな価格変動があった。

近年、風力タービンは、タワーの高さ及びローターの掃引面積の双方の点でサイズを大きくして、エネルギー出力を改善し、より多くの地域で風力エネルギーを生産する可能性を高めている。

この拡張を費用対効果の高い方法で達成するために、企業は革新的な方法を採用して、材料をより効率的に使用しながらタービン出力を増やすことができる。

これは、**業界の規模拡大に加え、企業の競争力及び市場シェア、生産コスト並びに原材料の供給及び価格の変動に関連するオペレーショナル・リスクに影響を及ぼす可能性**がある。

コード： RR-WT- 440b.1	指標： 上位5つの消費材料（重量）	測定単位： メートルトン(t)
1	以下の各風力タービンのクラスについて、報告期間中に納入された風力タービンで最も多く消費された 5 つの材料の重量をメートルトン単位で開示する	
2	開示の範囲には、最終的に納入されたタービンの材料（例：ナセル、ブレード及びタワーなど）の重量を含み、生産、貨物、保管及び設置時に消費される材料の重量は除外する	
4 4.1 4.1.1 4.1.2 4.1.3 4.1.4 4.1.5 4.1.6 4.1.7 4.1.8 4.1.9	<p>風力タービンのクラス別に、最も多く消費された 5 つの材料の重量を開示する必要がある</p> <ul style="list-style-type: none"> • 風力タービンのクラスは、国際電気標準会議（IEC）の「IEC 61400-1、Edition 3.0—Design requirements」によって定義される <ul style="list-style-type: none"> ➤ IEC 風力タービンのクラス I ➤ IEC 風力タービンのクラス II ➤ IEC 風力タービンのクラス III ➤ IEC 風力タービンのクラス IV ➤ IEC 風力タービンのクラス S ➤ 乱流特性 ➤ 混合クラス（例えば、IEC 風力タービンのクラス I /II） ➤ 陸上 ➤ 洋上 	

コード： RR-WT- 440b.2	指標： 風力タービンのクラス別のタービン容量当たりの平均トップヘッド質量	測定単位： 定量メガワット当たりの メートルトン(t/MW)
1	以下の各風力タービンのクラスについて、報告期間中に納入されたタービンのタービン容量当たりの平均トップヘッド質量を、風力タービンのクラス当たりのタービンの納入数によって加重して開示する	
1.1	<ul style="list-style-type: none"> • 風力タービンのクラスは、国際電気標準会議の「IEC 61400-1、Edition 3.0—Design requirements」によって定義する： <ul style="list-style-type: none"> 1.1.1 ▶ IEC 風力タービンクラス I 1.1.2 ▶ IEC 風力タービンクラス II 1.1.3 ▶ IEC 風力タービンクラス III 1.1.4 ▶ IEC 風力タービンクラス IV 1.1.5 ▶ IEC 風力タービンクラス S 	
2	風力タービンのクラスは、タービンの定格によって決定する	
3	<p>タービン容量当たりの平均トップヘッド質量は、メートルトン単位のトップヘッドの質量について、メガワット (MW) 単位のタービン容量で除して計算する</p> <p>計算式の例：トップヘッドの質量 (t単位) ÷ タービン容量 (MW単位)</p> <p>3.1 トップヘッドには、タービンのナセル及びタービンのローターを含む</p> <p>3.2 トップヘッドからブレードを除外する</p>	

コード： RR-WT-440b.3	指標： 風力タービン設計の材料効率を最適化するアプローチの記述	測定単位： 該当なし
1	<p>以下を最適化するための設計上の考慮事項及び材料の選択を含む風力タービンの材料効率を改善するためのアプローチについて記述する</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.1 • 消費する材料の量 1.2 • 消費する材料別の容量及び容量係数 1.3 • 寿命 	
2	<p>開示の範囲には、風力タービンの材料の選択及び変更、並びに風力タービンの材料効率を向上させる可能性のあるオペレーション統制ソフトウェアを含む</p> <ul style="list-style-type: none"> 2.1 • 材料の選択：材料の選択における優先順位、材料のイノベーション及び開発の重視、材料のリスク評価、並びに材料の消費に関する目的を含む 2.2 • 風力タービンの設計の変更：タービンの重量又はタワーの重量の削減による材料消費削減に関する設計上のイノベーション、材料消費に対してタービンの容量又は設備利用率 (capacity factor) を上げる設計上のイノベーション、タービン製造時に生み出す廃棄物を減らす戦略、及び風力タービンの設置時に消費する材料を削減するための設計を含む 	

コード	活動指標	カテゴリー	測定単位
RR-WT-000.A	風力タービンのクラス別の風力タービンの納入数	定量	数
RR-WT-000.B	風力タービンのクラス別の納入された風力タービンの総容量	定量	メガワット(MW)
RR-WT-000.C	タービンの受注残	定量	報告通貨
RR-WT-000.D	タービン受注残の総容量	定量	メガワット(MW)

RR-WT-000.Aに関する注記 - 風力タービンのクラスは、国際電気標準会議の「IEC 61400-1、Edition 3.0—Design requirements」によって定義される。風力タービンのクラスは、タービンの定格によって決定しなければならない。

RR-WT-000.Bに関する注記 - 風力タービンのクラスは、国際電気標準会議の「IEC 61400-1、Edition 3.0—Design requirements」によって定義される。風力タービンのクラスは、タービンの定格によって決定しなければならない。

